



吉原 美智恵 議員

# 地域活性化につながる 観光振興は

## 町長 官民協力した組織で盛り上げる

町長



御幸を盛り上げてにぎやかに

【吉原】伯耆国大山開山1300年の来年は、山陰観光の当たり年となり、他の自治体も取り組みを加速している。

観光は、すそ野の広い産業であり、地域活性化につながる振興策は。

【町長】地域の魅力が再発見できるツアーメニューの開発、拡充に取り組み、官民協力した組織づくりをして盛り上げる。

【吉原】一番に、町民の理解と認識、熱い協力がいるのではない

か。その機運の醸成ということで、1300年祭のロゴポロシャツを、町内の衣料品店で取り扱ってもらい、皆さんに着ていただくことはできないか。

また、大山寺へ行きたいけれど、歩行困難であきらめている人たちへ、かごや人力車の方法でおまわりできる、バリアフリーのお寺として観光力アップしては。

【町長】ポロシャツやバリアフリーについては、担当課と協議し、検討する。

# 郷土を愛する人を 育てる教育は

教育長

積極的に取り組み  
発信していく

育てる教育は

【吉原】本町は、恵まれた自然環境と多くの史跡を有しており、昨年は大山が日本遺産に認定された。

郷土に誇りを持ち、郷土を愛する人を育てることは、日本遺産の有効な活用方法にもなり、住民のみならず子どもたちの自信と誇りを醸成することにもなる。

さらなる啓発は。

【教育長】日本遺産の周知や普及については、広報だいせんで紹介したり、公民館主催の大山学講座で、開山1300年祭や、日本遺産をテーマに開催したりしており、講話の

要望があれば、積極的に対応する。

学校でも地域の資源や歴史について取り組みを充実させている。

【吉原】子どもから熱が入って大人へ広がるということもあり、期

待している。興味が薄い町民をいかに巻き込んでいくのか、その働きかけは。

【教育長】公民館を住民啓発の一番の基として、地域に発信する。



雨中でも熱心に（大山学講座）